

令和7年9月5日

山梨県産業政策部産業振興課 課長 山本 聡一郎

TEL:055-223-1543 FAX:055-223-1547 (産業振興課)

報道関係者各位

『彫金の技法と日本独自の銅合金を山梨のジュエリーへ 彫金の技術

(象嵌と色金)』(講師 飯野一朗)を開講します。

山梨県(知事 長崎幸太郎)は、県内のジュエリー職人等を対象に、日本を代表する彫金家 飯野一朗氏を講師に迎え、彫金の伝統技法である切り嵌め象嵌と日本独自の銅合金の着色方法を習得する講座を開講します。

象嵌や色金の技法は刀剣装飾と共に発展し、西洋のジュエリーとは異なる独特の美を育んできました。銅に金や銀などの割金を合金し、煮色着色を施すことで、独特の色調を生む日本独自の金属の色彩「色金」。その、微妙な色調や陰影の表現方法と着色の過程で『大根おろし』に漬け込むユニークな技法は、海外からも高い評価を受けています。

山梨のジュエリー産業に、日本の伝統技術「象嵌」や「色金」を取り入れることで、職人の技術力向上と県産ジュエリーの付加価値向上を図ります。

1 日程 令和7年9月9日(火)、9月10日(水)、9月16日(火)、9月17日(水)

※取材可能な日時については、別紙を参照してください。

2 場所 山梨県立宝石美術専門学校(甲府市丸の内1丁目16-20 ココリ7・8階)

3 講師 飯野一朗

山梨県立宝石美術専門学校校長、東京藝術大学名誉教授、彫金家。東京藝術大学大学院美術研究科彫金専攻修了。1976～2017年まで同大で彫金の指導に携わり、2018年4月より現職。日本ジュエリー展ジュエリー大賞、日本クラフト展クラフト賞ほか、受賞多数。「ジュエリーデザインアワード」審査委員長、「国際コイン・デザイン・コンペティション」審査委員などを務める。百貨店などで個展を開催し、作品は、The Metropolitan Museum of Artをはじめとして、国内外の美術館に所蔵されている。

4 象嵌と色金の技法の一例



講師作品
平象嵌・線象嵌・打込み象嵌等様々な伝統技法を現代的解釈に取り込みながら制作された、遊び心溢れる作品の数々



各種色金及び着色の例
左 着色前、右 着色後

※問い合わせ先

山梨県産業政策部産業振興課 担当 阿部

TEL:055-223-1543 FAX:055-223-1547

1 取材可能な日時について

教室スペース・実習等の関係で取材については、原則として下記の日時でお受け致します。

講座日時	講座概要	内容
第1回 9月9日（火） 14:30～16:00	講義：象嵌概論	象嵌、色金について講師が紹介・解説します。
第4回 9月17日（水） 9:30～11:30	色揚げ実習	受講生が製作した作品を 大根おろし に漬け込み着色します。 ※漬け込みから仕上げまで、1時間程度を要します。

2 参考 講座日程(全体)

当講座は全4回の講座です。次の日程で実施します。

講座日時	講座概要	実習内容
第1回 9月9日（火） 13:30～16:30	講義：象嵌概論	①飯野一朗作品紹介 ②象嵌の種類と特徴 ③色金について ④実習内容の説明及びデザイン考察
第2回 9月10日（水） 9:30～12:30	実習「切り嵌め象嵌①」 きり はめ ぞうがん	①デザイン確認 ②紋金制作 （デザイン画転写/ケガキ・切り出し・成形） ③地板制作 （紋金に合わせてケガキ・透かし・成形） ④嵌め込み ⑤ロウ付け
第3回 9月16日（火） 13:30～16:30	実習「切り嵌め象嵌②」 きり はめ ぞうがん	①仕上げ（ヤスリ・炭研ぎ） ②煮色着色について
第4回 9月17日（水） 9:30～12:30	色揚げ実習 いろあげ	①煮色着色 ②色留め ③講評